

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部		
	節	4	市民を守るまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	自助、共助、公助の考え方方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	消防力が充実し、迅速かつ的確に消防・救急活動を行う体制が強化されており、市民の生命と財産が守られ、安全で安心して暮らせるまちとなっています。	

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 消防団員の定員充足率	97.50%	—	—	—	—	98%	—	—	—	—	98%
	—	97.0%	95.8%	93.7%	89.9%	88.6%	86.9%	84.8%	82.3%	81.4%	—
② 上級、普通救命講習・救急入門コース受講者数	1,434人	—	—	—	—	1,650人	—	—	—	—	1,700人
	—	1,512人	1,401人	1,479人	1,565人	157人	33人	310人	1,640人	2,021人	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 消防体制の強化	1,129,005	1	1	0	0	危機管理防災課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	1,129,005	1	1	0	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	3 防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	4 市民を守るまちづくり		評価者名 向

評価主体が
推進する
施策の概要

1. 消防体制の強化 消防広域化のメリットを最大限に活かして消防力の充実・強化に努める。また、消防団を中心とした地域消防力の向上に努める。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命、身体及び財産を守るために、草加八潮消防組合規約に基づく経費（共通経費の負担割合は人口割、単独経費は全額負担）を負担した。 職員の相互派遣により草加八潮消防組合と連携を図った。 台風等の災害対応を通じて草加八潮消防組合との連携に努めた。 （仮称）八潮消防署南分署の整備に関し、草加八潮消防組合と連携・協力した。 			

課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）八潮消防署南分署の建設スケジュールが示され、用地取得を行っているが、手続きに時間がかかっている。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	職員相互派遣や訓練・災害対応等を通じて、草加八潮消防組合との連携が図れている。また（仮称）八潮消防署南分署に関し、草加八潮消防組合と連携・協力を図りながら進めている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小

施策の 展開方針	(説明)
-------------	------

・防災訓練などを通じて、日頃より顔の見える関係を構築し、草加八潮消防組合との連携に努める。
 ・職員の相互派遣を継続して実施し、草加八潮消防組合との連携に努める。
 ・草加八潮消防組合を通じて、災害時に地域において重要な役割を担う消防団との連携に努める。
 ・（仮称）八潮消防署南分署の整備に関し、草加八潮消防組合と連携・協力する。

■重点事業（部で5事業まで）					
章	節	施策コード	施策の内容		事務事業
			施策	内容	
1	03	04 01	消防体制の強化		広域消防推進事業
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部		
	節	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり				

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民との協働※により犯罪の起きにくいまちづくりが進み、市民は犯罪が少ない安全で快適なまちで暮らしています。

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 犯罪認知件数	1,271件	—	—	—	—	1,100件	—	—	—	—	1,000件
	—	926件	922件	949件	846件	648件	679件	841件	1,025件	788件	
② 防犯団体数	45団体	—	—	—	—	46団体	—	—	—	—	48団体
	—	45団体	44団体	40団体	40団体	38団体	38団体	37団体	36団体	36団体	
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 防犯力の強化	3,369	1	0	1	0	交通防犯課
2 防犯施設の整備	39,391	1	1	0	0	交通防犯課
3 警察署・交番の誘致	11	1	0	0	1	交通防犯課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	42,771	3	1	1	1	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	3 防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	評価者名	生活安全部 向
	節	3 犯罪のない安全で安心なまちづくり			

- 評価主体が
推進する
施策の概要
1. 防犯力の強化 自主防犯組織に対する防犯用品の貸与と青色回転パトロール車を使用した防犯活動の支援を通して地域防犯力の強化に努める。
 2. 防犯施設の整備 町会自治会が設置管理している防犯灯に対して補助金を交付し整備を促進する。
 3. 警察署・交番の誘致 県知事及び県警察本部長に対し、警察署・交番の設置及び警察官の増員について要望する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)
	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯組織28団体に対し、防犯用品を貸与した。 ・町会自治会に対し防犯灯の整備に係る補助金を交付し、108基が新設されるとともに50基がLED灯に更新された。 ・知事と県警察本部長に対し警察署等の設置に関する要望を行うとともに、八潮市警察署誘致活動研究会に書面で要望活動や県内の状況を報告した。

課題	● 課題はほとんどない ● ある程度課題がある ● 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪認知件数が、前年と比較して減少（237件減）している。 ・防犯カメラの整備について、今後、学校、町会自治会及び警察と協議しながら必要に応じて新たな方針の検討が必要である。 ・警察署の設置に関する県警察本部の見解では、既存警察署の改築・改修を優先するとともに不足している警察官の確保が課題とのことである。

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	警察署・交番の誘致活動については、課題があり進展が見られない状況となつているが、町会自治会や防犯関係団体と連携しながら防犯施設整備や防犯活動に取り組んでいることから、概ね順調と評価する。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かって、順調に成果があがっている）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かって、やや遅れているが概ね順調）
 ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進 ● 見直して推進 ● 大幅に見直して推進
	● 重点化(拡充) ● 縮小 ● その他

(説明)

- ・年々手口が巧妙化する振り込め詐欺に対して、犯罪の手口や必要な対策を啓発することで、市民の意識の醸成を図る。
- ・防犯カメラの更新時期に併せて、設置、管理及び運用に関するあり方を総合的に検討する。
- ・警察署の設置や警察官の増員と併せて、市内パトロールの強化を要望する。

■重点事業（部で5事業まで）

施策コード 章	節	施策	施策の内容	事務事業
				1 2 3 4 5
1	03	03	02	防犯施設整備事業
2	03	03	01	防犯活動普及事業
3	03	03	03	警察署・交番設置促進事業
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	● 健康福祉部	生活安全部
	節	1	災害に強いまちづくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	災害発生時における被害を最小限に抑えるため、市民一人ひとりが自ら命を守る行動をとり、地域の人々が助け合い、市民の安全を確保する体制が整っています。							
-------------------------	--	------	---	--	--	--	--	--	--	--

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
①	自主防災組織結成率	97.70%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
		—	97.7%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
②	災害時応援協定締結数	33件	—	—	—	—	37件	—	—	—	—	40件
		—	36件	37件	41件	44件	45件	45件	50件	58件		
③		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—										
④		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—										
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—										

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域防災計画の推進	8,804	4	4	0	0	社会福祉課、危機管理防災課
2 地域防災力の強化	43,000	4	3	1	0	危機管理防災課
3 避難行動要支援者対策の推進	0	1	0	1	0	社会福祉課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	51,804	9	7	2	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	3 防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	1 災害に強いまちづくり		評価者名 遠藤

評価主体が
推進する
施策の概要
避難行動要支援者対策の推進：八潮市災害時要援護者避難計画に基づき、災害時に自ら避難することができない要援護者が、迅速かつ安全に避難することができるよう体制を整備する。
火災、風水害その他不慮の災害による被害者又は遺族に対し見舞金を支給する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	①情報共有の取組 要援護者リストの更新を行うとともに、関係機関に対し要援護者リスト及び個別計画書の情報提供を行った。			
	②福祉避難所の取組 地域防災計画について部内関係各課と打合せを行い、現状における共通認識を図った。			
課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある	
① 情報共有の取組では、町会・自治会に対し要支援者名簿等を提供しているが、一部の町会・自治会からは「町会・自治会未加入者の取扱い」や「個人情報の管理方法」、「具体的な支援策」などに対する意見が出されている。今後も、避難行動要支援者対策の推進に向け、理解を得ながら取り組む必要がある。 ② 福祉避難所の取組では、現在市内には福祉避難所は2箇所しかなく、十分な数が確保できているとは言えない状況にある。 また、要支援者の支援に携わる人材の確保を含め、具体的な運営方法等の詳細について検討する必要がある。				

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	要支援者リストの掲載内容を更新するとともに、要支援者リスト及び個別避難計画書について、各関係機関と情報共有を図っている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小
施策の 展開方針	(説明)		
	八潮市避難行動要支援者避難支援計画に基づき、災害時に自ら避難することができない要支援者が、迅速かつ安全に避難できるよう、引き続き個別避難計画書の提出に係る啓発を行う。 個別避難計画の更新に伴い、本市の避難行動要支援者避難支援計画について、国の避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針の改定内容に合わせて改正した。各関係機関への情報共有などを図りながら、更なる避難行動要支援者対策の推進に努める。障がい者支援や高齢者施設に協力をいただき、福祉避難所の拡充に努める。		
■ 重点事業（部で5事業まで）			
施策コード	施策の内容		事務事業
章	節	施策	
1	03	01 03	避難行動要支援者対策の推進 避難行動要支援者対策推進事業
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部	健康福祉部
	節	1	災害に強いまちづくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	自助、共助、公助の考え方方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	災害発生時における被害を最小限に抑えるため、市民一人ひとりが自ら命を守る行動をとり、地域の人々が助け合い、市民の安全を確保する体制が整っています。							
-------------------------	---	------	---	--	--	--	--	--	--	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 自主防災組織結成率	97.70%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
	—	97.7%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—
② 災害時応援協定締結数	33件	—	—	—	—	37件	—	—	—	—	40件
	—	36件	37件	41件	44件	45件	45件	50件	58件	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域防災計画の推進	8,804	4	4	0	0	社会福祉課、危機管理防災課
2 地域防災力の強化	43,000	4	3	1	0	危機管理防災課
3 避難行動要支援者対策の推進	0	1	0	1	0	社会福祉課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	51,804	9	7	2	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	3 防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	1 災害に強いまちづくり		評価者名

評価主体が
推進する
施策の概要

1. 地域防災計画の推進 地域防災計画、業務継続計画、備蓄計画、災害時行動マニュアル、ハザードマップ及び八潮市国土強靭化地域計画の改定等を適宜行うとともに、市民の生命、身体及び財産の保護に取り組む。
2. 地域防災力の強化 防災訓練や研修会等を通じて防災意識の醸成を図るとともに、自主防災組織の育成及び支援を行い地域防災力の強化に努める。また、防災行政無線やSNSなどの情報伝達手段の充実を図る。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	<ul style="list-style-type: none"> 防災関係法、国の防災基本計画、埼玉県地域防災計画等の改定の動向を踏まえ、八潮市地域防災計画の見直し及び改定を行った。 八潮市国土強靭化地域計画の進行管理を行った。 食糧、飲料水、物資、資機材等を購入し備蓄した。 総合防災訓練を大原小学校で実施した。 			

課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 全44自主防災組織に地区防災計画を策定していただくための支援が必要である。 防災行政無線が届きにくい地域への対応が必要である。 物資を備蓄する防災備蓄倉庫の確保が課題である。 避難所の運営など実践的な訓練が必要である。 共助の中核となる自主防災組織に防災に関する知識や技能等を持つ人材が少ないとや役員の高齢化により活動する人材が減少している。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	八潮市地域防災計画を見直すとともに、研修会や訓練、災害時応援協定の締結、防災行政無線の適切な維持管理、備蓄物資の整備、地区防災計画作成支援など、防災力の向上に努めた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小

(説明)

・自主防災組織連絡協議会と連携を図りながら研修会等を開催し、地区防災計画の必要性を説明する。
・防災行政無線の更なる充実を図るために、難聴地域への効果的な対策を実施する。
・避難所の施設管理者と連携を図りながら、備蓄場所の確保に努める。また現在分散している市防災備蓄倉庫について、市の所有する未利用地が活用できないか検討する。
・職員の防災意識を高めるための研修会等を開催する。
・防災訓練や防災に関する研修を通じて、市民の防災に関する知識の普及を図るとともに、自主防災組織の活動支援を行い地域防災力の強化に努める。

■ 重点事業（部で5事業まで）				
施策コード	施策の内容			事務事業
	章	節	施策	
1 03 01 01	地域防災計画の推進			防災・減災推進事業
2 03 01 02	地域防災力の強化			防災行政無線管理事業
3 03 01 02	地域防災力の強化			備蓄物資整備事業
4 03 01 02	地域防災力の強化			自主防災組織活動促進事業
5 03 01 02	地域防災力の強化			防災訓練運営事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●健康福祉部	生活安全部
	節	2	危機に備えた体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	自助、共助、公助の考え方方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	新型インフルエンザ等の感染症、放射性物質事故、テロ行為、武力攻撃事態等の危機事象に備える体制が整っています。	

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標										
	実績										
① 危機管理体制の見直し回数（毎年）	0回	—	—	—	—	1回	—	—	—	—	1回
	—	0回	0回	0回	0回	1回	0回	0回	0回	—	—
②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 危機管理体制の充実	1,634	1	1	0	0	危機管理防災課
2 感染症対策の推進	664	1	0	1	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	2,298	2	1	1	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	3 防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	2 危機に備えた体制づくり		評価者名 遠藤

評価主体が
推進する
施策の概要

【感染症対策の推進】
関係機関と連携を図り、新型インフルエンザ等の感染症が拡大する危機事象等に即応できる体制づくりを進める。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)
	新型インフルエンザ等の感染症発生に備え、職員が使用する感染症対策物品の備蓄を行った。 また、新型インフルエンザ等対策業務継続計画書及び新型インフルエンザ等に係る住民接種の手引きの作成に向けた検討、調査を行った。

課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	新型インフルエンザ等の発生時における、迅速な対応ができる体制づくりを構築する上で、庁内関係課や関係機関との具体的な連携方法を検討する必要がある。 新型インフルエンザ等の拡大期においては、感染症対策物品の備蓄の確保が難しいため、計画的に備蓄及び在庫管理を行う必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	備蓄品の使用期限を確認し、在庫管理を行うとともに計画的に備蓄を行い、新型インフルエンザ等のBCPについても、新型コロナウイルス対策時のBCPを参考に調査研究し体制整備を検討したため。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小
施策の 展開方針	(説明)		
	国・県の新型インフルエンザ等対策行動計画が改定されたことから、市の行動計画についても整合性がとれるよう改定し、新型インフルエンザ等に係る住民接種の手引き作成に向けた具体的検討を行う。また、感染症対策物品の備蓄については、引き続き計画的な購入と在庫管理を行う。		

■重点事業（部で5事業まで）

施策コード 章 節 施策	施策の内容	事務事業				
		1	2	3	4	5
1 03 02 02 感染症対策の推進						
2						
3						
4						
5						

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】一：課題はほとんどない，〇：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部		
	節	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり				

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	自助、共助、公助の考え方方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	交通ルールを遵守する意識とマナーが向上し、自動車、自転車、歩行者が互いに思いやりと譲り合いの気持ちで、安全で快適に道路を利用しています。

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標										
		実績										
① 交通事故件数		528件	—	—	—	—	510件以下	—	—	—	—	490件以下
		—	410件	367件	343件	282件	239件	224件	215件	202件	207件	
② 交通安全教室開催数と参加者数		43件 7,283人	—	—	—	—	46件 7,500人	—	—	—	—	48件 7,700人
		—	50件 9,476人	49件 8,141人	45件 7,882人	51件 7,986人	13回 1,306人	26回 3,590人	32回 3,236人	38回 6,484人	35回 4,202人	
③ 道路照明灯の設置		2,956基	—	—	—	—	3,070基	—	—	—	—	3,170基
		—	3,111基	3,131基	3,233基	3,240基	3,255基	3,296基	3,353基	3,360基	3,366基	
④ 道路反射鏡の設置		1,241基	—	—	—	—	1,310基	—	—	—	—	1,370基
		—	1,276基	1,314基	1,339基	1,358基	1,367基	1,385基	1,400基	1,412基	1,447基	
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—										

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 交通安全意識の高揚	18,869	2	0	2	0	交通防犯課
2 交通安全施設の整備	80,333	4	2	2	0	交通防犯課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	99,202	6	2	4	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	3 防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	5 交通事故のない安全で安心なまちづくり		評価者名

評価主体が
推進する
施策の概要

- 交通安全意識の高揚 子どもや高齢者を対象とした交通安全教室を実施するとともに、広く交通安全思想の普及啓発に努める。また、登下校時の児童及び生徒の安全を確保するため交差点に交通指導員を配置する。
- 交通安全施設の整備 道路照明灯、道路反射鏡及び路面標示を整備する。また、放置自転車や放置自動車に対する指導を実施するとともに、移動及び撤去等の対策を推進する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 八条中（111人）と中馬場児童交通公園（20人）でスクエアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を実施した。 自転車用ヘルメットの購入費補助金の交付対象者を全年齢とし、131人に交付した。 新たに道路照明灯5基、道路反射鏡10基及び外側線や「止まれ」などの路面標示を整備した。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年は交通死亡事故が0件となり、この状況を継続するため、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づける必要がある。 令和6年の人口1万人当たりの自転車事故死傷者数は県内ワースト7位となったが、「八潮市自転車の安全な利用の促進に関する条例」に基づいて、引き続き対策を実施する必要がある。 不足している交通指導員の確保が課題である。 自転車用ヘルメットの購入費補助金では、特に高齢者の利用実績が低調である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	交通死亡事故は令和6年は0件となり、また、人口1万人当たりの自転車事故死傷者数は県内ワースト7位となった。道路照明灯、道路反射鏡などの交通安全施設の整備や、自転車用ヘルメット購入費補助金制度を継続し交通事故の軽減に努めていることから、概ね順調と評価する。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、成果があがっている）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）
 ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進	<input type="checkbox"/> 見直して推進	<input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> その他
施策の 展開方針	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 「八潮市自転車の安全な利用の促進に関する条例」に基づき、より効果的な自転車事故対策を集中的に実施する。 自転車用ヘルメットの着用を普及させるため、啓発に努めるとともに、自転車用ヘルメット補助金制度の周知を図る。 駅周辺の商業施設に対して、自転車の適正な管理について指導する。 		

■重点事業（部で5事業まで）

施策コード 章	節	施策	施策の内容	事務事業					
				1	2	3	4	5	
1	03	05	01						交通安全指導・教育事業
2	03	05	01						交通安全運動推進事業
3	03	05	02						交通環境整備事業
4	03	05	02						放置自転車対策事業
5	03	05	02						路上放置自動車等対策推進事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●市民活力推進部		
	節	6	安全・安心で豊かな消費生活づくり				

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	様々な消費者が、消費生活について情報を取得し、学ぶことによって、自ら判断し適切に行動することができ、安全・安心で豊かな消費生活を送っています。 また、トラブルに陥った際には相談できる環境が整っています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 消費生活セミナー等講座数と参加者数	1回 64人	—	—	—	—	2回 70人	—	—	—	—	2回 76人
	—	1回 41人	1回 28人	1回 35人	1回 31人	0回 0人	0回 0人	1回 53人	1回 37人	1回 33人	—
② 消費生活相談件数	332件	—	—	—	—	363件	—	—	—	—	390件
	—	369件	377件	423件	362件	401件	426件	494件	471件	497件	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 自立した消費者の育成	521	1	0	1	0	商工観光課
2 消費者保護対策の推進	606	1	1	0	0	商工観光課
3 消費者団体の育成・協働	9	1	0	1	0	商工観光課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	1,136	3	1	2	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	3 防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	6 安全・安心で豊かな消費生活づくり		評価者名
評価主体が 推進する 施策の概要	<p>①自立した消費者の育成として、消費生活展や消費生活に関するセミナーを開催するなど、消費者が主体的かつ合理的に判断し、消費行動がとれるよう、消費者意識の高揚を促進する。また、関係機関が発行する情報紙等を活用した消費生活に関する情報の提供を行うとともに、消費生活に関するトラブルを未然に防止するため、消費者啓発パネル展を開催する。</p> <p>②消費者保護対策の推進として、消費生活に関する相談及び多重債務問題、苦情等に対応するため、消費生活センターの相談体制の充実を図る。</p> <p>③消費者団体の育成として、市内消費者団体が自主的に行う消費生活に関する活動に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。</p>			

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	<p>①消費生活情報提供事業では、市内消費者団体と市の共催により、消費生活に関するセミナーを開催し33人の参加があった。また、消費者啓発パネル展を市役所等で開催し啓発品を配布した。（5・7・8・9・11・2月）</p> <p>②消費生活相談事業では、消費生活センターで月曜日から金曜日まで消費生活相談を実施し、497件の相談があった。</p> <p>③消費者団体活動補助事業では、市内の消費者団体の活動に対し補助金を交付した。</p>		
課題	<p>● 課題はほとんどない</p> <p>● ある程度課題がある</p> <p>● 大きな課題がある</p>		
	<p>①消費生活情報提供事業では、消費者に対し訴求性の高い消費生活展やパネル展示のあり方を検討・実施する必要がある。また、消費者向け啓発において、最新の悪質商法の手口を情報提供するなど、時機を捉え臨機応変に対応し、消費者被害の予防に繋げる必要がある。</p> <p>②消費生活相談事業では、消費生活相談員向け各種研修会への参加によるスキルアップを図るとともに、最新情報の入手、弁護士による助言などにより、複雑・高度化する消費生活相談に対応する必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<p>①消費生活情報提供事業では、消費者啓発パネル展を開催して啓発品を配布するなど、消費者向けの啓発に努めた。</p> <p>②消費生活相談事業では、消費生活相談を開設し多くの消費者トラブルの解決に繋がった。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かって、順調に成果があがっている）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かって、やや遅れているが概ね順調）
 ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小
施策の 展開方針	(説明)		
	<p>①消費生活情報提供事業では、消費者に対し訴求性の高い消費生活展やパネル展示のあり方を検討・実施する。また、市ホームページや840メールなどを活用し、時機を捉えた情報提供に努める。</p> <p>②消費生活相談事業では、安定的な運営に必要な相談員を確保し、月曜日から金曜日まで週5日の消費生活相談を継続して実施する。また、消費生活相談員が研修等へ参加する機会や、弁護士へ相談する機会を確保し、スキルアップの向上に努めながら、複雑・高度化する消費生活相談の充実を図る。</p> <p>③消費者団体活動補助事業では、持続可能な自主運営に繋がるよう、必要な助言・支援に努める。</p>		
■ 重点事業（部で5事業まで）			
施策コード	施策の内容		事務事業
章	節	施策	
1			
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ